

■ ITLSフレームワーク（初版）

ITリテラシー

社会におけるIT分野での事象や情報等を正しく理解し、関係者とコミュニケーションして、業務等を効率的・効果的に利用・推進できるための知識、技能、活用力

A. ITの動向			B. ビジネスの改善・刷新			C. リスク対応			D. ITへの投資		
A1. ITの潮流とビジネスへの影響	A2. 各種情報システムの特徴	A3. サービスやソフトウェア・ハードウェアの選択と適用	B1. 情報の取得・分析	B2. 改善・刷新の実施	B3. 操作・表現の技術	C1. 規程・方針	C2. 脅威	C3. 対策	D1. 開発・運用の技術	D2. IT関連法規	D3. コンピュータ科学
・シェアリングエコノミーやサブスクリプション方式など新たなビジネス形態やテレワークなどの新たなワークスタイル	・経営戦略を支援する情報システムの戦略の目的とシステムの特徴や考え方	・システムを構成するサービスやソフトウェアの特徴	・情報の検索・取得、整理、分析、編集、発信などリサーチの基本的な考え方、方法	・コンピュータ及びネットワークを、利用した業務の自動化、効率化の目的、考え方、方法	・データの可視化、業務フローなど業務を把握する際のビジュアル表現	・セキュリティ関連法規(サイバーセキュリティ基本法、不正アクセス禁止法など)、不正競争防止法(営業秘密)、情報セキュリティポリシー	・情報セキュリティの概念の理解、代表的な情報資産の種類とこれらに対応する人的・技術的・物理的脅威と脆弱性	・情報セキュリティに関する人的・技術的・物理的セキュリティ対策の基本的な考え方	・要件定義、システム設計、プログラミング、テスト、ソフトウェア保守などシステムの開発のプロセスの基本的な流れ	・知的財産権(著作権法、産業財産権関連法規など)	・システムの構成、処理形態、利用形態の特徴
・AI、IoTの基本的な考え方、社会や身近な業務での使われ方	・経営を支援する各種管理システムの基本的な考え方	・システムを構成するハードウェアの特徴	・業務データの分析や整理を行うための統計・分析手法、データ及びデータ構造の基本的な考え方	・コミュニケーションにおけるグループウェアやSNSなどの効果的な利用	・オフィスツールなどのソフトウェアの特徴と基本操作、論理的で効果的なレポート作成と発信の考え方	・コンプライアンス、コーポレートガバナンスなど、企業の規範の考え方	・情報技術等を悪用するなどの代表的な攻撃手法の種類とこれらへの対策の概要	・リスクマネジメントの流れと情報セキュリティマネジメントシステム(ISMS)の考え方	・アジャイルなどをはじめとする、代表的な開発モデルや開発手法に関する意義や目的	・各種契約(NDA、SLA、ライセンス)など、取引に関連する法規(下請法、PL法など)	・システムの性能・信頼性・経済性(費用対効果)
・クラウドコンピューティングなど代表的なサービスを通じたソリューションビジネス	・各種ビジネス分野での代表的なシステムの特徴や考え方	・ライセンス形態、ライセンス管理など、ソフトウェアライセンスの考え方、特徴	・情報システムに蓄積されたデータの操作・分析、担当業務における業務改善や問題解決への活用	・業務モデルにおける代表的なモデリングの考え方	・職場でシステムを活用する観点でのファイル管理の考え方と基本的な機能の使い方	・個人情報保護の必要性、関連する法律、個人情報保護方針(プライバシーポリシー)	・利用により生じる人為的ミス(ヒューマンエラー)に起因する脅威と対策の想定	・IoTシステムの情報セキュリティを維持するための各種の指針・ガイドラインが推奨している事項	・プロジェクトやプロダクトのマネジメントの意義、目的、考え方、手法	・労働基準法、労働者派遣法など、労働に関する法規	・クラウド利用を前提としたアーキテクチャ、オープンソースソフトウェア(OSS)の特徴

※ 上記のほか知識の詳細は「ITLSモデルカリキュラム」を参照

<習得・活用度>

【1級】 上記における各領域に関する知識を横断的に活用し、実務の場でリーダーシップを発揮できる。

【2級】 上記「A. ITの動向」領域に関する知識を前提とし、必要に応じて他領域の一部の知識を適宜選択・活用しながら実務に対応できる。